

おおわし

新潟市立大鷲小学校 住所 新潟市南区東笠巻 1202

電話 025-362-5431 ファックス 025-362-5554

E-mail

e607owashi01@city-niigata.ed.jp

ホームページ

<http://www.owashi.niigata-city.ed.jp/>

「正直」

校長 柴 澤 明 子

時には大きな声で泣きながら、時には神妙な面持ちで、友達とのいざこざを訴える子どもたち。本人から、話をじっくり聞きます。「そうかそうか。」と頷いたり、時には背中をとんとんして落ち着かせたり。

話に出てきた友達にも話を聞きます。必要があれば、見ていた子どもたちにも。少しずつ状況がはっきりしてきて、何で泣くことになったのか、何で暗い気持ちになったのかも分かってきます。

先日、子どもたちにこんな話をしました。

中学1年生の時のこと。その日、委員会の仕事で掃除に遅れそうになった私は、内履きのまま外に飛び出し、担当だった外掃除を始めました。少しすると、学年で一番怖いと言われていた佐藤先生がこちらに歩いてくるのが見えたのです。近くまで来ると佐藤先生は、私の足元を見つめました。

「それ、内履きかね。」

佐藤先生は、静かな声で聞きました。私は何と答えたと思いますか？

とっさに出た言葉、それは

「いいえ。外履きです。」

という嘘でした。佐藤先生は、黙って後ろを向くと歩いて行ってしまいました。

家に帰ってから「嘘がばれてしまったら…」と不安で仕方がありませんでした。

でもその時、ふと、先生の後ろ姿を思い出したのです。先生は、何を考えていたのだろう、と。(きっと、悲しかっただろうな)私のことを信じてくれているだろうに、私は正直に話すことができなかった…。ばれて怒られることよりも、佐藤先生を悲しませてしまったことがとても苦しくなってきたのです。

その後、佐藤先生は学校を去られ、私は本当のことが言えないままになってしまいました。



中学生の時の出来事から、もう50年が経ちました。でも、まだ忘れることができないのは、正直に言えなかった“後悔”に違いない。もし、先生に今、会えたら、「先生、あの時の靴は“内履き”でした」と、真っ先に言うことでしょう。

子どもたちから話を聞いていると、時々、話が食い違うことがあります。でも、よく思い出したり、友達の話を変えたりすると、「やっぱりこうだったかも」とか、「本当はこうだった」とか、時には自分が勘違いをしていたことに気付いたりすることもあります。

私たちは、意識していなくても“自分のことをよく思われたい”と思うのが自然です。ですから、自分に都合のいいように判断したり話したりすることがあります。だからこそ、子どもたちが勇気を出して正直に話してくれると、とても嬉しく感じます。話を聞いたあと、「話してくれて、ありがとうね。」

と、にっこり笑って伝えます。

【全校なかよし遠足 つよく やさしく にっこにこ！】

9月26日、秋晴れの空の下、「なかよし遠足」を実施しました。合い言葉は「つよく やさしく にっこにこ」。なかよし班の1年生から6年生までの子どもたちが、西区の『みどりと森の運動公園』まで仲よく歩いて出かけました。

今回は、一人ひとりが役割をもち、長い道のりを協力して歩き、公園では楽しく会食をしたり、一緒に遊んだりして、笑顔いっぱいの日となりました。

学級を離れ、他の学年の友達とふれ合うことで、協力して目標を達成する喜びや、みんなで楽しさをつくり出すことの大切さを感じることができました。

前期のなかよし班での活動はこれで一区切りとなり、後期のなかよし班活動がスタートしました。後期も、子どもたちが互いに思いやりをもってかかわり合い、協力し合う姿を大切にしていきたいと思います。



【走り抜いたマラソン記録会！】

10月8日（水）、秋空の下、マラソン記録会を行いました。低学年は約1km、中学年は約1.5km、高学年は約2kmのコースに挑戦しました。

どの子どもスタートの合図とともに一生懸命走り、自分の力を出し切る姿が見られました。走り終えた後の笑顔には、大きな達成感と充実感があふれていました。

当日は、温かいご声援をいただきありがとうございました。皆様の応援が子どもたちの励みになりました。



【放課後の子どもたちの居場所】

4 時間で早帰りの日や下校が早い 5 時間などの日に地域の皆様、関係機関のご協力により放課後の子供たちの居場所づくりが行われています。子どもたちにとって下校してからの楽しみや仲間づくりの場となっています。バス待ちの子たちだけではなく、大鷲の子どもたちの居場所づくりが進んでいます。

【大郷・鷲巻地区コミュニティ協議会・・・走り方教室、凧あげイベント】

走り方教室では専門的なコーチにより、体幹を鍛えるトレーニングもあり、中学生も参加しています。初心者から体力自慢まで、汗をたくさんかいて、走って遊んで体を鍛えています。また、凧あげイベントも企画されて、いろどりの凧がたくさんグラウンドで舞っていました。



【白根北児童館 出張児童館・折り紙教室】

大通地域にある子どもの遊び場、白根北児童館に大鷲小学校で移動児童館を開催していただきました。児童館スタッフさんによるレクリエーション、カプラ、ボードゲームなどで放課後のお楽しみの時間ができました。また、昼休みには折り紙教室も開設されています。季節にあった飾りを児童館スタッフさんに教えていただきながら楽しく作っています。毎回盛況で雨の日は特に満員御礼です。できた作品をうれしそうに持ち帰っています。



【全国学力・学習状況調査の結果のお知らせ】

4月に行われた全国学力・学習状況調査について各教科の結果の概要は、以下の通りです。

	十分な達成状況	【改善を要する】
国語	○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。 ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。	△図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 △目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける。
算数	○目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する。	△はかりの目盛りを読む。 △「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表す。 ※無答率が高い
理科	○水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解している。 ○ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いている。	△電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わる。 △顕微鏡を操作し、適切な像にする。

以上の状況を踏まえ、

○国語では「条件に合わせて書く」「情報と情報を関連付けて書く力」

○算数では「数直線や図、グラフを効果的に使い手際よく思考する力」

○理科では「目的・結果の予想・操作の手順について明確にして問題解決する力」の向上を目指し、「自ら課題を見付け、かかわりながら解決する授業」を重視して取り組んでいきます。

また、児童質問紙による調査では「自分には、よいところがあると思いますか」「友達関係に満足していますか」の設問に対し、県や全国と比較し20ポイント以上高い状況でした。認め合い支え合う関係づくりを家庭や地域でも進めていただき、大変感謝申し上げます。

引き続き、ご家庭や地域と連携して、子どもたちに確かな学力と望ましい生活習慣を培っていきます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

全国学力学習状況調査の問題についてはこちらのQRコードから見るができます。ぜひお子さんと一緒にチャレンジしてみてください。

